

地震に備える

固危機管理課 ☎(235)4790

いつどこで発生するか分からない地震。地震に対して、個人ができることは「備え」です。日頃から食料・飲料の備蓄をして、自宅の損傷が少なかった時は、自力で生活が続けられるような環境づくりも必要です。家の安全対策などもしっかり行い、非常時に備えましょう。



食料・飲料は3日以上を

避難所の物資は非常用です。食料・飲料は家族の人数分を3日以上、必ず用意しておきましょう。保存期限の確認も忘れずに。

- 飲料水は、1人1日3リットルを目安に3日以上
- 食料は、ご飯(アルファ化米など)・ビスケット・チョコレート・カンパンなどを3日以上

「家庭内流通備蓄」で安心の備えを

レトルト食品やカップ麺、缶詰など、日常生活の中で使う食料を多めに備えながら普段の生活の中で使用し、非常食としても使えるように買い置きしておくことを「家庭内流通備蓄」といいます。日頃から「いざという時」に意識を向けておくことが、真の「備え」につながります。



生活必需品なども忘れずに

日常生活で必要なものはもちろん、個人的な必需品も準備しましょう。災害発生時は店舗の商品が品薄になり、電気・水道・ガスなどのライフラインの断絶も想定されます。必要なものはあらかじめメモをしており、非常時にすぐに用意できるようにしましょう。

トイレ袋は必ず備えて

震災直後は、下水道が破損している恐れがあるため、水を流すと他の家庭のトイレが逆流するなど復旧が大幅に遅れます。トイレ袋を必ず備え、大きな地震の後には下水道の点検が終わるまでトイレ袋を使用しましょう。

- トイレ袋・トイレットペーパー・ティッシュペーパー・洗面用具

- ヘルメット・防災頭巾・マスク・軍手・懐中電灯・衣類・タオル・ラジオ・マッチ・ろうそく・カセットコンロ・カセットボンベ・携帯ラジオ・電池

- 常備薬などの救急薬品

- 通帳・証明書類・印鑑・現金などの貴重品



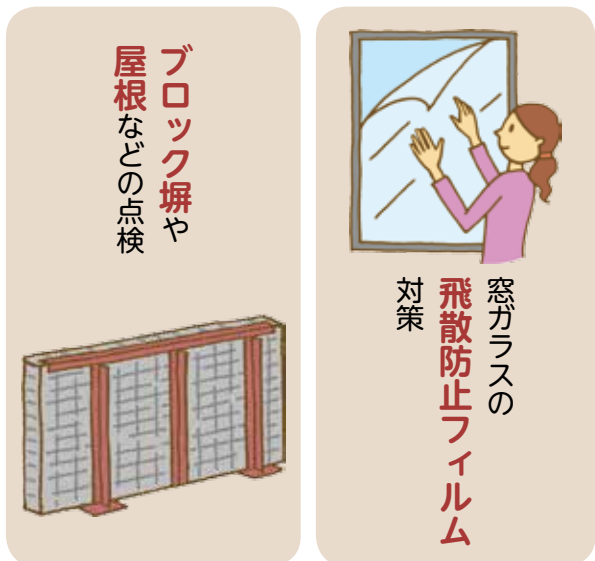
高速吸水シートタイプ
袋と吸水シートが一体化したタイプ。袋を開けば、すぐに使えます。



凝固剤タイプ
いつものトイレに袋をかぶせて使うタイプ。使用後は凝固剤をかけて固めます。

家の安全対策はしっかりと

家の倒壊は免れても、家具類の転倒、落下によりけがをしたり命を落とす危険性があります。家の内外を点検し、対策を図りましょう。



ブロック塀などの撤去費用を補助

ブロック塀などの倒壊で周囲の人に危険を及ぼすことがないよう、撤去費用の一部を補助します。高さ60cm以上で道路に面したブロック塀などが対象です。詳細は、まちづくり指導課(☎235・9392)へ。

防災カメラの映像配信を終了

市ホームページから閲覧できる、防災カメラのライブ映像の配信を3月31日(日)で終了します。

